

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢本町開発事業 新築工事	階数	地上7F地下1F
建設地	藤沢市本町四丁目1471-1 他	構造	RC造
用途地域	近隣商業、準防火	平均居住人員	197 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校、物販店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2018年8月9日
敷地面積	1,878 m ²	作成者	大和ハウス工業㈱東日本中高層技術センター
建築面積	629 m ²	確認日	2018年8月9日
延床面積	4,222 m ²	確認者	大和ハウス工業㈱東日本中高層技術センター



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)
 ②建築物の取組み: 76% (138 kg-CO₂/年・m²)
 ③上記+②以外のオンサイト手法: 76% (138 kg-CO₂/年・m²)
 ④上記+オフサイト手法: 76% (138 kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
省エネに配慮した設計をしている。		
Q1 室内環境 品確法の断熱性能等級4を獲得し、昼光率の光環境に対して高評価の設計計画としている。	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境 LCCO2排出率=76%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される